

東山

2月号

○やさしい子 ○考える子 ○たかましい子

やる気いっぱい 感動いっぱい 笑顔あふれる東小



令和2年 2月14日
発行者：校長 齋藤初代

春を見据えて



立春とはいえ、氷が張るような寒い日もありますが、花壇のチューリップやスイセンが芽を出し、春の訪れを感じるこの頃です。

先月は、インフルエンザの流行により、4学級が学級閉鎖を余儀なくされました。授業参観や役員会等の開催日も急ぎょ変更させていただきましたが、保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で2月に入ってからは、り患者も減り、子どもたちは、なわとび記録会やおはやし引き継ぎ式、そして、6年生を送る会の準備などに、元気に取り組んでいます。

3月19日の卒業式まで、あと1か月あまりとなりました。このまま、全校生が元気に活動できるように、引き続きインフルエンザ等の感染予防に努めて参りたいと思います。ご家庭でも、お子様の健康管理をどうぞよろしくお願いいたします。

様々な活動に取り組んでいます！



1年 むかしあそび
めんこやこまなどいろいろ教えてもらいました。



2年 カッターナイフの使い方
ボランティアさんのおかげで安全に使えました。



3年 昔の暮らし
おひら郷土資料館で見学や体験活動をしました。



6年 陶芸教室
卒業記念の作品を製作しました。



間中さんのお話会 (1・3・5年)
面白い昔話や節分の話など聞かせていただきました。



給食週間「おすすめメニュー」
取組の一つとして、各家庭のおいしいメニューを紹介しました。



3年 食育「しもつかれ」
給食センターの栄養教諭の先生に教えていただきました。



6年 租税教室
税金についていろいろ学びました。1億円の重さも体験！



一日入学 来入児と1・2年生が交流したり、登校班と一緒に通学路を歩いたりしました。



なわとび記録会 1年生の跳んだ回数は6年生が数えてくれました。新記録達成！

「学校評価」について

本校では、学校の教育活動や学校運営の状況について、改善に生かすために学校評価を行っていますが、2学期に実施した「保護者アンケート」ではたいへんお世話になりました。アンケートをとりまとめて考察し、学校運営協議会においてご意見をお伺いするなどして検討を重ねてまいりました。その結果についてお知らせいたします。

【アンケート結果】		上段：保護者 割合が昨年度より高い○ 低い▽ 下段：児童 割合が昨年度より高い● 低い▼
質問項目	割合(%)	
1 学校へ楽しく登校している	90	
学校へ来るのは楽しい	81	▼
2 基礎学力が身についている	82	▽
先生の話をよく聞き一生懸命勉強している	97	●
3 自分の考えを表現する力がついている	74	▽
授業中自分の考えを発表している	77	▼
4 進んで運動し体力づくりをしている	76	○
運動して体力づくりをしている	86	●
5 宿題や家庭学習の習慣がついている	71	▽
宿題や家庭学習をやっている	92	●
6 思いやりの心が育っている	93	○
周りの人にやさしくしている	98	●
7 元気にあいさつをしている	83	○
元気にあいさつをしている	91	●
8 歯みがき・手洗いをしている	86	○
歯みがき・手洗いをしている	95	●
9 悩みがあったとき家族に相談している	86	▽
困ったときに先生に相談している	71	▼
10 家ではきものをそろえたり整理整頓をしたりしている	52	▽
はきものをそろえたり片づけたりしている	96	●
11 学校は各種たよりで学校の様子をわかりやすく伝えている	95	
12 学校は相談体制が整っていると思う	87	
13 学校の安全対策はできている	93	

○児童と保護者のアンケート項目に多少違いがありますが、児童に比べ、保護者の評価が特に、「10整理整頓・使った物の後片付け」「5家庭学習の習慣」「2授業への取組」で大きな差が見られます。児童には各項目についてより高い意識をもつよう指導を充実させるとともに、保護者の皆様には、さらに、学校での児童のよさをしっかりとお伝えし、家庭と連携を図って、家庭学習やよりよい生活習慣について指導していきたいと考えます。

○昨年度は、児童・保護者ともに「1学校へ楽しく登校している」が9割だったのに対して、今年度は、児童の割合が減少しています。また、「3自分の考えを表現する」は、児童・保護者ともに低い割合です。これらの結果を最重要課題として受け止め、教師と児童、児童相互の人間関係に、より注意して学級経営を見直すとともに、「勉強が分からない＝つまらない」と感じてしまう児童を生じさせないように、さらに分かる授業を推し進めていきます。また、表現力を向上させるための研究に全職員で取り組みます。

○「4外で元気に遊んでいる（体力づくり）」は、児童・保護者ともに昨年度に比べ評価が特になくなってきています。外遊びの奨励や共遊の時間の確保、各種運動での『がんばりカード』の活用により、運動へ意欲的に取り組めたと考え、今後も児童の意欲を引き出し、健康でたくましい体力づくりに努めていきたいと思えます。

○「7あいさつ」については、昨年度よりさらによい結果になっています。登下校時は、もう少し元気な挨拶ができるとよい班も見られるようですが、校内では、挨拶の意識が高まっており、来校者の方からお褒めの言葉をいただきました。今後も、学校・家庭・地域と連携して指導していきたいと思えます。

○「9悩みを相談している」は、困ったときがないので相談していない割合が多いのであればよいのですが、相談できない状況であるとすれば、早急に改善する必要があると考えます。児童や保護者の困り感等のニーズをいち早く察知し、適切な対応ができるようにさらに相談体制を見直すとともに、教職員の研修も深めたいと考えます。

第3回学校運営協議会

1月30日(木)の学校運営協議会では、1年間の総括と次年度の学校経営方針等について協議いたしました。本校ならではの福祉教育や、人権教育の取組について高く評価していただくとともに、褒めてあげることが大切であること、さらにコミュニティ・スクールの充実を図っていくことなど、多岐にわたり貴重なご意見をいただきました。改善点をしっかりと捉えて次年度の学校経営につなげていきたいと思えます。

